

祝

徳島県糖尿病協会 60周年

徳島県糖尿病協会会長 松久 宗英

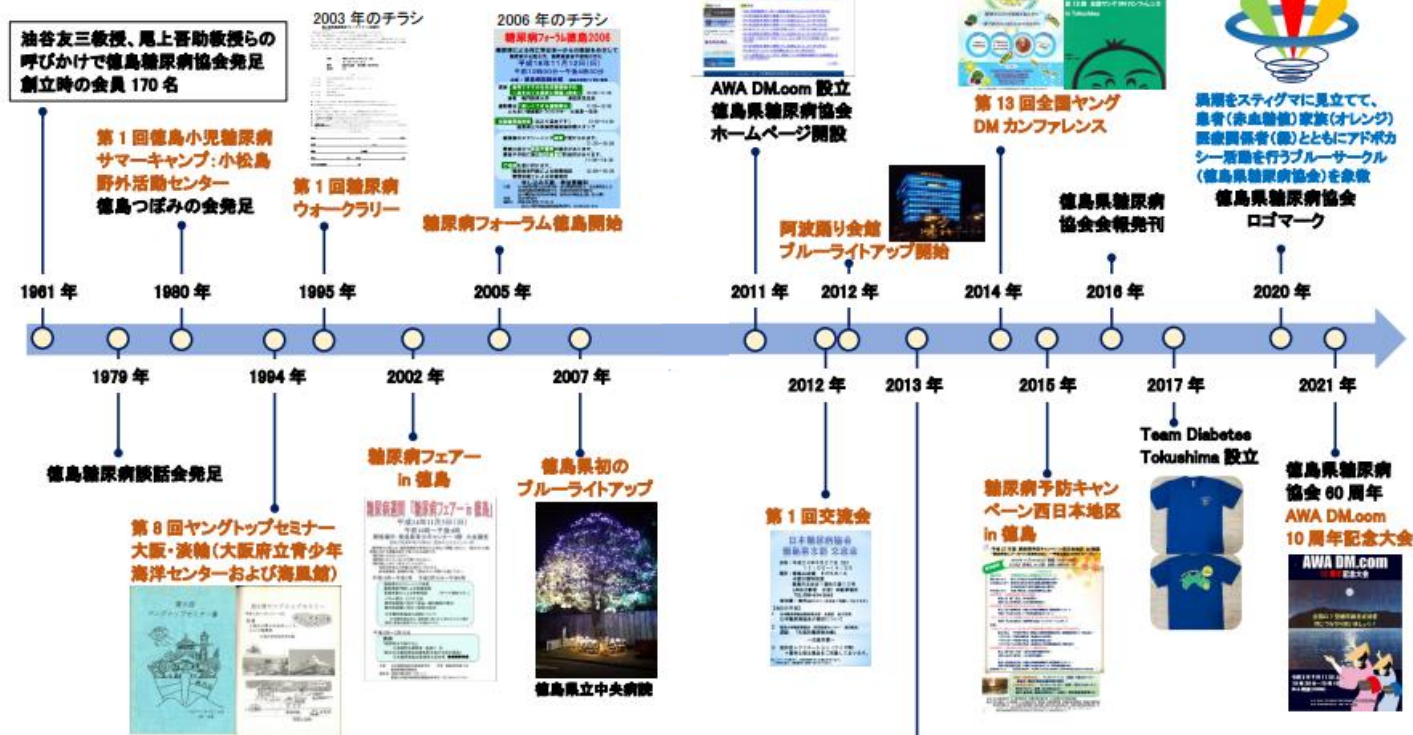
徳島県糖尿病協会 60周年記念誌の発刊に向けて

昨年、日本糖尿病協会事務局の堀田さんから徳島県糖尿病協会が設立60年であると連絡をいただきました。当協会は日本糖尿病協会と同時期の1961年に徳島大学を中心に始まった由緒ある会であることを初めて知りました。藤中雄一先生より2013年に会長のバトンを引き継ぎ、前を向いて協会活動を進めてきましたが、これまでの活動の歩みを知る資料が残されておられません。そこで、この協会を立ち上げ繋いでこられた患者さんと医療者の思いと活動を可能な限り復元したいと思い、60周年記念誌の編纂を行いました。日本糖尿病協会の古い資料に当たり、またコロナ禍をめぐって多くの方々から過去の協会に関する情報を教えて頂きました。貴重な資料や記憶を掘り起こしていただいた皆様には心より御礼申し上げます。また、徳島県の飯泉嘉門知事、徳島県医師会の齋藤義郎会長、日本糖尿病協会の清野裕理事長と中村慶子理事、さらに徳島県の糖尿病対策を牽引されてこられた島健二先生から貴重なご寄稿も頂きました。当協会のこれまでの軌跡として、そしてこれからの道標として、この記念誌が皆様の参考になれば幸いです。



【徳島県糖尿病協会 60年のあゆみ】

徳島県糖尿病協会は1961年日本糖尿病協会の設立と同時期に発足。支部の数は全国で11都道府県



「公益社団法人日本糖尿病協会」に移行したため、徳島県糖尿病協会と改名

吉野川さわやか会

JA 徳島厚生連吉野川医療センター 藤岡 美恵香

吉野川さわやか会は年に一度、自施設に通院されている患者様のみなならず、患者様のご家族も参加し交流会を行っています。

2013年から毎年テーマを決めて行っています。2019年には災害対策をテーマに災害時の持ち出し袋についてグループで話し合いました。また、エコミー症候群予防体操を行い、糖尿病劇場「南海トラフ地震、そのときあなたは！」では、医師が患者様役になり、コメディカルが医師・看護師役になって演技を行いました。劇の後に医師より振り返りを行いながら災害対策についての講義がありました。最後に災害時持ち出し袋を一人ずつに渡し、帰宅後に自分用の持ち出し袋を完成してもらうように促しました。参加者からは「楽しく現実的な話が聞けて良かった」との意見を頂き、災害対策の動機付けにつながるよい機会になりました。現在はコロナ感染予防のため、患者様との交流は行えていませんが、本年度よりブルーライトアップを行う予定です。患者様からイベントを再開してほしいとの声もあり、一日も早いコロナ終息を願うばかりです。



徳島つぼみの会 「コロナ禍での徳島糖尿病サマーキャンプ」

徳島大学病院小児医学分野 小谷 裕美子

コロナ禍にあっても、特に新規患者さんの交流を保つために2021年度は「オンライン家族会」を3回設けました。治療体験を共有しやすいように「ポンプ」と「ペン」の使用者に分けて、新規患者さんを3家族ずつ配し、6-7家族ずつのZOOM家族会にしました。19時から90分間行いましたが、時間が足りないくらいでした。また部活などで糖尿病キャンプに参加しにくい中高生さんを対象に「中高生交流会」を、保護者さんにも一緒に参加いただきZOOMで行いました。

「オンライン家族会」を受けて、8月21日に「BBQ&川遊び」としてデイキャンプを企画していました。しかし当日コロナの蔓延防止等重点措置が発令されたため中止し、BBQ用のお肉を各家庭に配ってオンラインBBQを行いました。そのリベンジとして11月21日に「芋ほり&ウチノ海総合公園でBBQ」のイベントを8家族で対面での交流会ができました。事前に「オンライン家族会」で知り合っていたので、兄弟姉妹をふくめた子供たちでにぎやかにキャンプができました。尚コロナ感染対策として参加前の体温を確認し、数日前に簡易PCRキット検査で陰性を確認し参加を頂きました。当日は家族単位で食事をとり、密を避けつつ行いました。

《 トピックス 》

口の中だけのハナシじゃない！「歯周病と全身の健康」 徳島県歯科医師会 下村 学

歯周病が糖尿病の合併症として広く知られるようになり、図1のように糖尿病連携手帳にも歯周病の解説が掲載されており、手帳の第4版では「歯周病の改善によって、糖尿病の改善につながる」との報告があります」との説明や、検査計画の欄にも歯科受診が追加されています。歯周病は成人の8割が罹患しているとされるように、誰にでもあるお口の中の感染症と言え、日ごろの患者さんのセルフケアと歯科を定期的に受診されてのプロフェッショナルケアが車の両輪のように必要です。県民の方々のお口のヘルスケアに関するリテラシー向上を目的として、徳島県歯科医師会では図2のリーフレットを作成し、歯周病と全身の健康についての関連をわかりやすく解説しておりますので、広くご活用いただきたいと存じます。

図1 糖尿病連携手帳の歯周病解説欄

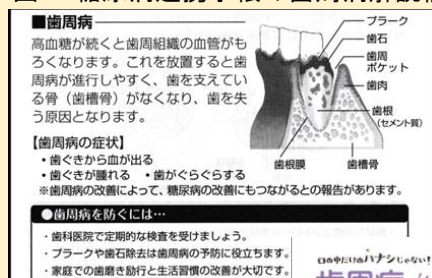


図2 徳島県歯科医師会 「歯周病と全身の健康」リーフレット



11月14日は「世界糖尿病デー」

徳島県のブルーライトアップとイベントのご紹介

世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために、2006年12月20日に国連総会において公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日です。青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」がシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes」（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。徳島県でのブルーライトアップや、イベントを紹介します。

《 2022年度 徳島県糖尿病協会のイベント案内 》

今年度は、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、下記イベントを予定しています。

活動名	実施日/期間	開催場所
糖尿病フォーラム	11月3日 10時～15時	ゆめタウン徳島 ストップ糖尿病 ～知っとるで！糖尿病～
ブルーライトウォーキング	11月5日	
ブルーライトアップ	11月5日～11月30日	阿波おどり会館
バーチャルウォークラリー	11月19日	

ストップ糖尿病～知っとるで！糖尿病～

11月3日 10時～15時 ゆめタウン徳島(1階セントラルコート)

内容:健康相談(医師、看護師、管理栄養士)

血糖測定、握力測定、ポスター掲示など

血糖値当てクイズもあるよ！
ピタリ賞には、景品が…
挑戦しよう！！

《 2021年の徳島県のブルーライトアップ紹介 》



徳島大学病院



阿波おどり会館



徳島県立中央病院



徳島県立三好病院



徳島県総合健診センター



天満病院



徳島県鳴門病院



寺沢病院

《 編集後記 》

徳島県糖尿病協会会報の第9号を発行いたしました。発行にあたり、ご寄稿頂いた先生方ありがとうございました。

徳島県糖尿病協会は、2021年60周年を迎えました。ご尽力いただいた皆様方に御礼申し上げます。これからも各施設の患者会の支援や、新型コロナウイルス感染症感染予防を徹底しながら、徳島県糖尿病協会のイベントが活発に運営されるよう努めてまいります。今後とも皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

徳島県糖尿病協会 鈴木麗子

《 連絡先 》

徳島県糖尿病協会

URL: <http://tokutokyo.org/>

徳島大学先端酵素学研究所

糖尿病臨床・研究開発センター内

TEL 088-633-7587